

七十七銀行、AMDでOAクライアントを刷新、セキュリティ強化を実現

ケーススタディ

七十七銀行は、OAクライアントにAMD Ryzen™ PRO CPU搭載のHP PCを導入し、ITインフラ整備、ゼロトラストによるセキュリティ強化を実現しました



コロナ禍により急速に広まったリモートワークを中心とした多様な働き方は、企業によるデジタルインフラストラクチャの実装方法に変化、変革をもたらしています。各企業では、AIワーカロードと従業員の多様化する働き方への対応がますます重要な面になっていくとともに、業務システムのパフォーマンスとセキュリティを絶え間なく向上していく必要があります。七十七銀行では、この新たな時代に対応すべく、OA(オフィスオートメーション)の刷新を検討していました。そのような中でAMD Ryzen™ PROプロセッサにより、同行が抱えていたPCパフォーマンスにかかる課題を解消し、ITインフラ整備とセキュリティ強化の両方を実現しました。

「AMDデバイスは非常に優れた安定性、可用性、信頼性を発揮しています」

七十七銀行、デジタル開発課課長、岩淵道生氏

七十七銀行のデジタル開発課チーフエキスパートである相馬広明氏はこう述べています。「私たちはOAシステム全体の刷新を検討しており、その中にはデータセンターのサーバー群から、従業員が利用するPC、プリンター、タブレット、いわゆるクライアントインフラストラクチャまでが含まれていました。」同行の本部・営業店等で利用しているOAクライアント約3,000台を刷新しようとしていました。

同行では大半の従業員が現在オンラインで働いていますが、OAクライアントは、出張時の外出先や自宅でのリモートワークなど、行内・外問わず利用され、今後さらにさまざまなシーンでの利用が進んでいくと考えていました。それに伴いデジタル開発課では、PCパフォーマンスにかかる課題の改善、DX(デジタルトランスフォーメーション)に向けたITインフラ整備とセキュリティ強化が求められていました。相馬氏はこう説明します。「当行には2種類のPCがあります。シンクライアントとファットクライアントです。また、フォームファクターも2種類あり、1つは持ち運びしやすいポータブルなもの、もう1つはオフィス内でのみ利用するタイプのものです。」

WINDOWS 11へのアップグレードが可能に

岩淵氏は、「従来のシステムでは、10年以上使い続けていたPCもあり老朽化が進んでいました。Windows 11のオペレーティングシステム要件を満たすためにも、すべての端末を更新すべき時期でした」と振り返ります。七十七銀行が必要としていたのは、デバイスとしての大幅なパフォーマンス向上に加え、Windows 11への完全な適応とセキュリティ強化で、その実現に向けて同行はモバイル用端末として、AMD Ryzen 5 PRO 7640HSプロセッサを搭載したHP ZBook Firefly 14モバイルワークステーションの導入を採用しました。

業界

金融サービス

課題

OAクライアント(約3,000台)の刷新とそれに合わせたWindows 11への移行、DX実現に向けたITインフラ整備、日々高度化していくセキュリティリスクへの対策強化。

解決策

AMD Ryzen™ PRO CPUを搭載したHP PC(3機種)を導入。

結果

クライアント刷新によりPCパフォーマンスの課題を解消すると共に、Windows 11へのスムーズな移行と、親和性の高いゼロトラストソリューション導入によるセキュリティ強化を実現。

AMDテクノロジ概要

AMD Ryzen 5 PRO 7640HS CPU
AMD Ryzen 5 7530U CPU
AMD Ryzen 3 7330U CPU

テクノロジパートナー





七十七銀行は、岩淵道生氏（左）と相馬広明氏（右）のリーダーシップのもと、DX実現に向けたITインフラ整備を進めています。

相馬氏は次のように説明します。「従来のシステムでは、大量のドキュメントや大容量のデータを扱う際にフリーズが頻発し業務の妨げになっていました。クライアントを刷新したことでのパフォーマンスが改善され、そのような事態から脱却でき、また本部のヘビーユーザー用により高いパフォーマンスを発揮できるファットクライアントを新たに導入することで業務効率化を図っています。AMD Ryzen プロセッサを搭載したデバイスにより、Windows 11への移行もスムーズにできました。CPUがWindows 11に適応していたことで安心かつ容易に展開することができました。」

「AMD Ryzen プロセッサ搭載のデバイスで Windows 11へのスムーズな移行が可能になりました」

七十七銀行、デジタル開発課チーフエキスパート、
相馬広明氏

セキュリティも重要なポイントとして、七十七銀行では、Windows 11の将来的なセキュリティアップデートに対応できるクライアントシステムを求めていました。相馬氏はこう述べています。「私たちはクライアントの刷新と合わせて、EDRなど新たなセキュリティソリューションの導入を考えていました。最新のテクノロジを駆使して、よりセキュアな環境を実現するため、BitLockerを使用したデータの暗号化、CrowdStrike FalconのEndpoint Detection and Response等を利用したゼロトラストによるセキュリティ強化に取り組んでいます。」

AMD RYZEN PRO CPU でセキュリティを強化

日々進化するサイバーエンジニアリングに対して、企業は迅速かつ正確な安全対策が求められています。岩淵氏は次のように説明します。「今後は、パブリッククラウドを活用したデジタルツールが増えていくことに加えて、従業員の働き方も多様化が進んでいくと考えています。そのため、銀行内・外を問わず安全かつセキュアに利用できるITインフラの整備が不可欠で、私たちはDXの取り組みを加速しなければならないのです。AMDのデバイスはそういう取り組みにおいて鍵になる存在です。」

七十七銀行のOAクライアントはすべて、同行データセンターのサーバーで管理されています。相馬氏はこう述べています。「私たちはすべてのPCを監視し、PCにインストールした専用のIT資産管理ツールを用いて、ソフトウェアのバージョンを管理し、OSのアップデートが適切に実施されていることを確認しています。新しいAMDデバイスではシステム維持運用の面でも改善効果をもたらしており、PC故障、不具合の発生回数が大幅に減ることで、修理コストの削減につながっています。」

「私は AMD の CPU を幅広いビジネスシーンに強くおすすめします」

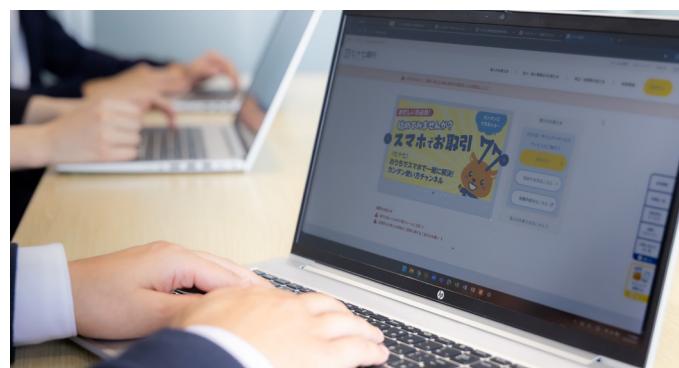
七十七銀行、デジタル開発課チーフエキスパート、
相馬広明氏

「AMDデバイスは非常に優れた安定性、可用性、信頼性を発揮しています」と語るのは岩淵氏です。「私たちは、これからもAMDデバイスに大きな期待を寄せています。導入後、処理スピードが改善されたことでストレスが無くなったといったポジティブな意見が多いです。またバッテリーライフが長くなつたことで、外出先でもリモートでも、気軽に持ち運べて働きやすくなつた、という声も頂いています。」

相馬氏はこう述べています。「PCの起動時間が短縮できしたこと、ディスプレイの解像度が上がり画像が鮮明に映せること、さまざまな面で改善を図ることができました。当行では、ISVアプリケーションを多く利用していますが、AMDデバイスはそのすべてを問題なく実行でき、汎用性も高いことから1つのPCで複数のアプリケーションを実行でき、端末の集約も図っていくことができると言えています。その点は、当行DXの取り組みにおいても重要なポイントになっていくと感じています。」

AI活用ワークフローとPCパフォーマンス

七十七銀行の従業員は、オフィス向けの標準的なノートPCや外出先での作業に適したモバイルPC、高負荷処理用のハイパフォーマンスPCまで、さまざまなタイプのPCを必要としていました。



AMD Ryzen™ PRO CPUを搭載したPCは、安定したパフォーマンスを発揮しています。

その中で働き方に合わせて大きく3つに分類し、渉外担当などの行外で働く従業員向けにSIMカード搭載のHP ZBook Firefly 14モバイルワークステーションを導入、一方、オフィス内で働く従業員向けに性能の異なる2種類のHP ProBookノートPCを導入しました。高性能なPCは、本部のデータ分析等大量データを扱う担当者に向けてファットクライアントとして導入しています。

「AMDのおかげで、コストとパフォーマンスの適切なバランスを保つことができています」

七十七銀行、デジタル開発課チーフエキスパート、相馬広明氏

AI活用ワークフローもまた、七十七銀行にとって重要性を増しています。AMDプロセッサ搭載のPCは、リソース消費の大きいAIアプリケーションの実行に必要なパフォーマンスを提供することができています。岩淵氏は、「私たちの銀行でもAIテクノロジを使い始めています。更なる生産性の向上を図るためにAIの活用は最重要事項となっています」と述べます。AIは、一般事務、カスタマーサービス、不正検知等、幅広い分野での活用が期待できます。「たとえば、ローン申込者の信用情報をAIが自動で評価することで業務を効率化し、融資審査に要する時間を短縮できれば、これまでより早くお客様に結果を通知できるようになります。また、AIが不審な挙動を読み取り、人間では気づくことができないレベルでの不正検知といったことに役立てることができます。」



OAクライアントの刷新により、七十七銀行の従業員はよりセキュアな環境で働けるようになりました。

AMDのプロセッサは七十七銀行のIT戦略、DX、ビジネス改革のあらゆる領域で同行を支えています。相馬氏はこう説明します。「Vision 2030は、2030年に向けた当行の長期計画で、人口減少、少子高齢化等の社会課題を踏まえたものです。AMDは、七十七銀行のDX実現に向けて非常に重要なインフラストラクチャを担っており、コストとパフォーマンスの適切なバランス維持に役立っています。私はAMDのCPUをあらゆるビジネスに強くおすすめします。」



AMD PRO プロセッサによってもたらされる メリットを知るには:

サインアップしてビジネスコンテンツをご購読ください。

www.amd.com/ja/preferences/sign-up.html

七十七銀行について

1878年(明治11年)に創業した七十七銀行は、「地域の繁栄を願い、地域社会に奉仕する」という経営理念を掲げ、宮城・東北を主な拠点として地域密着型金融を実践、地域経済の活性化に努めています。個人および法人向けに、預金、融資、クレジットカードをはじめとする幅広い金融サービスを提供し、また宮城県指定金融機関として、地元経済で重要な役割を果たしております。詳細については、77bank.co.jpをご覧ください。

AMDについて

AMDは50年以上にわたり、ハイパフォーマンスコンピューティング、グラフィックス、視覚化テクノロジの革新を推進してきました。世界中の何十億もの人々、フォーチュン500のトップ企業、最先端の科学研究機関は、生活、仕事、遊びを向上させるために、日常的にAMDのテクノロジを活用しています。AMDの従業員は、ハイパフォーマンスで適応性に優れたプロダクトの開発に日々取り組み、限界に挑戦しています。AMDは現在を見据えながら、未来を形成しています。詳細については、AMD(NASDAQ: AMD)のウェブサイト、ブログ、LinkedIn、およびXページをご覧ください。

免責条項

すべてのパフォーマンスとコスト削減効果の記載は七十七銀行により提供されたものであり、AMDが独自に検証したものではありません。パフォーマンスやコストの優位性は、さまざまな要因の影響を受けます。ここに示された結果は七十七銀行独自のものであり、一般的ではない可能性があります。GD-181

本文書に含まれる情報は、情報提供のみを目的とし、技術的な誤りや欠落、誤記が含まれている可能性があります。ここに記載の情報は、製品およびロードマップの変更、コンポーネントとマザーボードのバージョン変更、新しいモデルや製品のリリース、製造業者の違いによる製品の差異、ソフトウェア変更、BIOSの書き換え、ファームウェアアップグレードなどを含む(ただしこれに限定されない)多くの理由によって変更される場合があり、不正確となる可能性があります。いかなるコンピューターシステムにも完全に防止または軽減できないセキュリティの脆弱性のリスクが存在します。AMDは、この情報の更新または修正あるいは改訂について一切の義務を負わないものとします。ただし、AMDは、AMDが予告する義務なしに、当該情報を適宜改訂し、変更する権利を留保します。GD-18。

商標情報

© 2025 Advanced Micro Devices, Inc. All rights reserved. AMD、AMD Arrowロゴ、Ryzen、Threadripperおよびその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc.の商標です。この資料に含まれているその他の製品名は識別目的のみに使用されており、それぞれの所有者の商標である可能性があります。一部のAMDテクノロジでは、サードパーティによる有効化またはアクティベーションが必要になる場合があります。サポートされる機能はオペレーティングシステムによって異なる場合があります。具体的な機能については、システムメーカーにお問い合わせください。完全に安全なテクノロジや製品はありません。